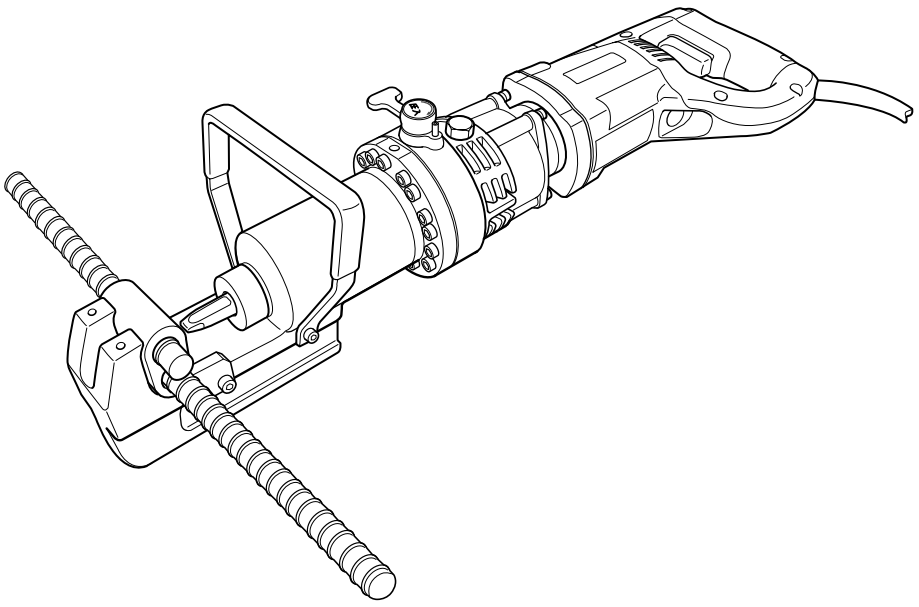
取扱説明書　OSフープクリップ工法

新 圧 入 機

コード式



当社製品を安全にご使用いただくために、取り付けおよび操作の前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、必要なときにご参照できるようお手元に保管してください。

okabe

目次

安全上のご注意 2
各部の名称と仕様 7
操作前の準備 8
操作方法 9
　モータ部の回転機能について 10
保守・点検について（油圧オイルの補充方法） 10

安全上のご注意

注意分の ⚠警 告 ⚠注 意 注 の意味について （ご使用の前に必ずお読みください）

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警 告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注 意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、**⚠注 意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱等に関する重要なご注意。

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警 告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

4. 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

5. 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

7. 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

8. 作業にあった電動工具を使用してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

10. 保護めがねを使用してください。
- 作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。

11. コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

12. 加工するものをしっかり固定してください。
- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⚠ 警　告

13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には、交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・使用しない、または修理する場合。
・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。
・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
・電源につないだ状態でスイッチに指を掛けて運ばないでください。
・プラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。
・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・電源プラグやコードが損傷した製品や、落としたり、何らかの損傷を受けた製品は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所で修理を行ってください。
・スイッチで始動および停止操作の出来ない場合は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、圧入機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

- **二重絶縁仕様でない製品については、かならず接地（アース）してください。故障や漏電のときに感電のおそれがあります。**
- **ご使用中は、危険ですので絶対に駆動部・旋回部に手や顔を近づけないでください。また、点検、お手入れ、部品交換などの際には、必ず電源プラグを電源から抜いてください。**
- **磨耗したり、変形、破損、亀裂などが生じた部品は、製品本体の故障の原因となるおそれがあるだけでなく、さらに重大な事故の原因となることもありますので、すみやかに岡部純正の新しい部品と交換してください。**
- **電源はかならず単相交流100ボルトにて、ご使用ください。**

  電源が離れていてツナギコードが必要なときは、本機を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。（延長コードは、アース線を備えた3芯コードをお使いください。）

コードの太さ（導体公称断断面積）	コードの限界長さ
1.25mm²	15m
2.00mm²	30m

- **ご使用の前に各部のボルトの締め付けを確認し、必要に応じて「増し締め」をしてください。**

⚠ 注　意

感電事故の防止を！

- 万一の感電事故を防止するために、漏電しゃ断器の設置された電源に接続されることをおすすめします。

騒音防止規則を守る！

- 騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周辺に迷惑をかけぬよう、規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

機械の準備！

- 機能に適した用途以外には使用しないでください。また、使用限界が表示されているものは必ずその範囲内で使用してください。
- ネジ類などはゆるんだり、脱落していませんか？運転前に必ず確認してください。

使用電源は正しい電圧で！

- 電源は必ず銘板に表示してある電圧でお使いください。表示以上の電圧で使用されますと回転が異常に高くなり大変危険です。また逆に低い電圧で使用されますとモーター故障の原因となります。

機械ご使用上の留意点！

- 常に足場に注意し、機械のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業してください。
- 運転中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合は直ちに作業を中止してください。
- 機械の運転中には回転部、摺動部に手や顔などを近づけないでください。
- 機械の連続使用などにより、機械本体の表面温度が70℃以上になりますと、性能の低下が起きることがありますので、このような場合には30分から1時間ほど使用をやめて機械の表面温度が下がってからご使用ください。
- モーターのカーボンブラシは、およそ200時間ご使用時に新しいものと交換してください。カーボンブラシの長さが5～6mm以下になりますと、モーター自体を損傷するおそれがありますので、ご注意ください。

⚠ 注　意

機械の保護！

●機械は大切に取り扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりしますと外枠などが変形したり、亀裂や破損を生ずる場合がありますので、十分ご注意ください。

●機械の風窓はモーターを冷やすのに必要な部分です。もしふさいだりしますとモーター燃損の原因となりますので注意してください。

機械の点検・整備・保管にも気を配る！

●使用後の機械は手入れをし、常に最良の状態を保ってください。特にモーター部やスイッチ部のほこりは常に拭き取るよう心がけてください。

●部品交換の際は必ず指定された純正部品をお使いください。

●いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。

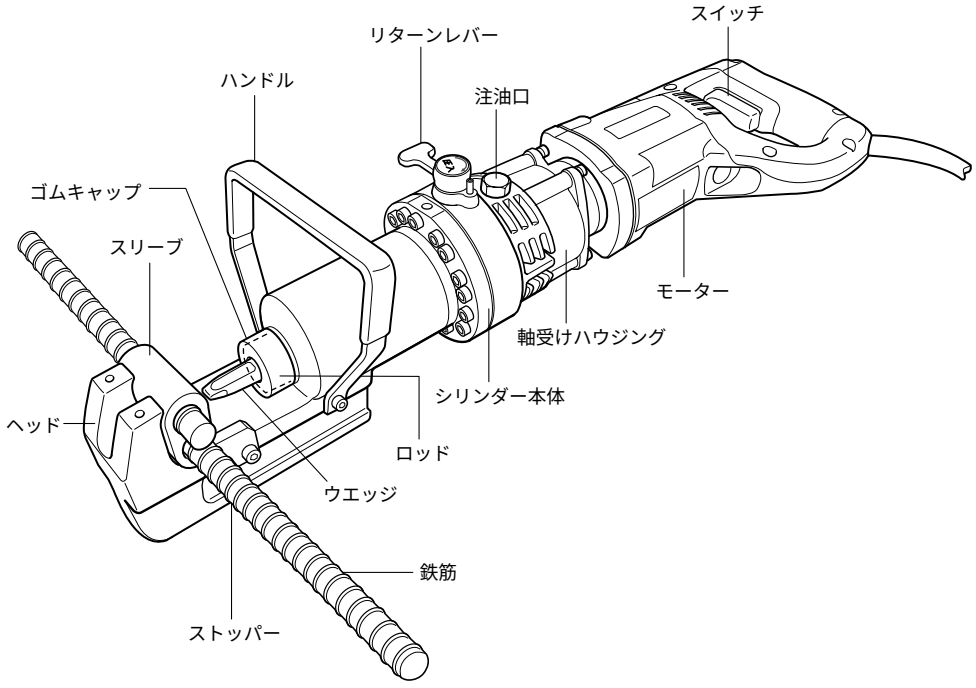
●機械の作動に不具合や異常がある場合には、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご相談ください。機械内部は高い精度で加工された部品が組み込まれていますので絶対に分解はしないでください。

●本機は油圧オイルを使用しておりますので、気温、室温が低い場合や、使いはじめには、2〜3分ていどの暖気運転（無負荷運転）をおこなってください。

※ 修理／点検はお買い求めの販売店または弊社、支店・営業所にお申しつけください。

各部の名称と仕様

■ 各部の名称



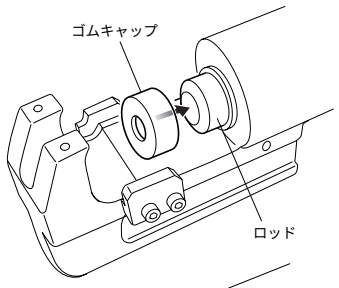
■ 仕様

型　　式	コード式（D16・D19用）
モーター	単相100V　二重絶縁700W　50/60Hz
寸法（長さ×幅×高さ）	615×135×169m
圧入力	10.1ton
質量（バッテリー含む）	11.0kg
圧入時間	8秒
標準付属品	油圧オイル（容器付）35cm³
	スパナ（14・17）
	商品ケース
	六角棒レンチ（5・6）

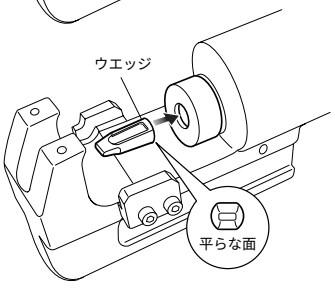
＊改良のため、仕様および形状などは予告なしに変更することがあります。

操作前の準備（取り付け）

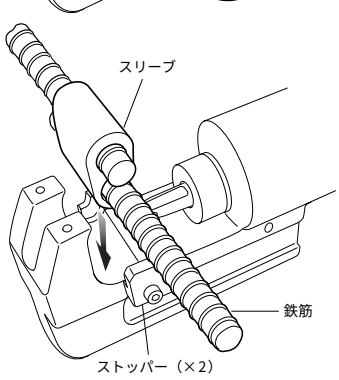
①

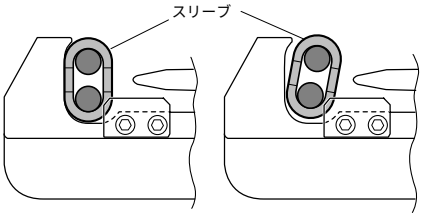


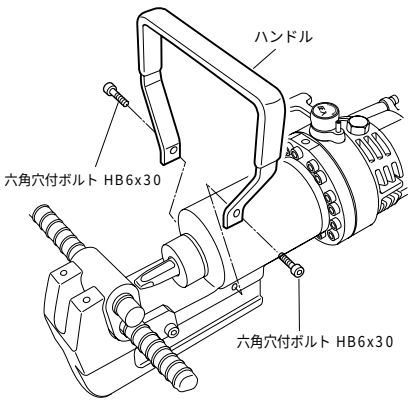
②



③







⚠ 警　告

ゴムキャップの取り付け・取りはずしの際は必ずプラグを電源から抜いてください。
本体が作動して、けがの恐れがあります。

注

スリーブ（ゴムキャップ、ウエッジ）を取り付けの場合は下記の手順で行ってください。

1. ゴムキャップを本体のロッドに取り付けてください。
2. 取り付いたゴムキャップに、ウエッジの先端を平らにした方向で取り付けてください。
3. 鉄筋を取り付けたスリーブを、ヘッド部に対し直角になるようにセットしてください。

ご注意

ヘッド部の両サイドに付いているストッパーの溝に、スリーブが確実にセットされていることを確認してください。

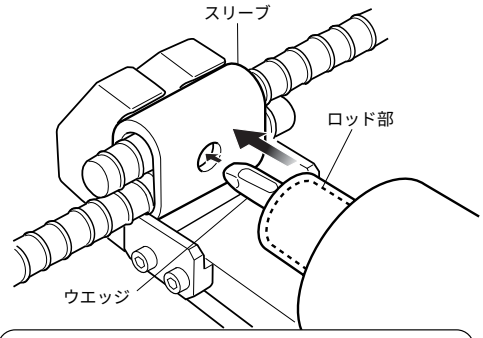
⚠ 警　告

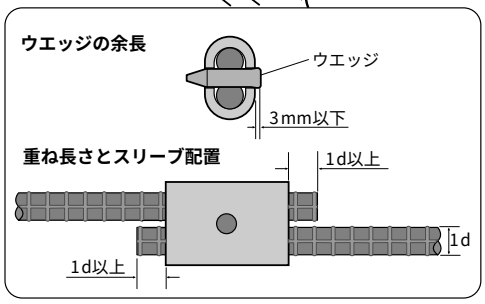
スリーブをセットする位置が浅かったり傾いていたりすると、ストッパーが破損する原因にもなります。
正しくスリーブをセットしてください。

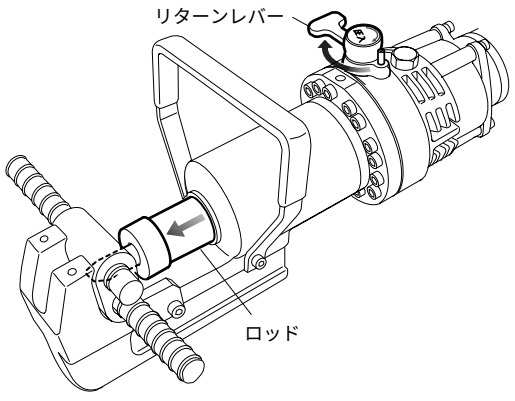
ハンドルの取り付け

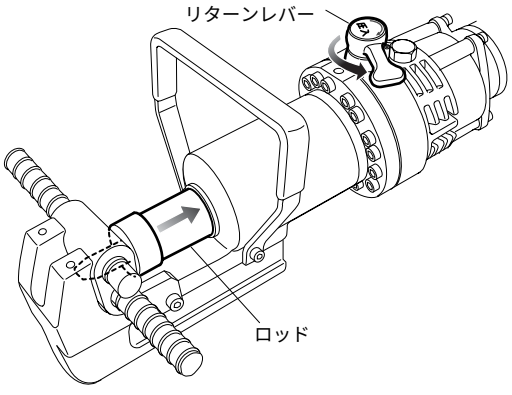
1. 本体を図のように置き、ハンドルの取手部分を上にします。
2. 六角穴付ボルトHB6×30でハンドルをしっかり締め付けてください。

操作方法







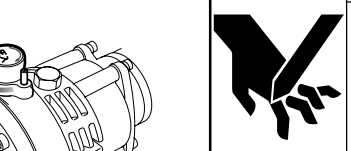


1. スイッチを入れると、ウエッジの付いた「ロッド」が前進しスリーブに圧入されます。
   このときウェッジが圧入作業を終わるまでスイッチは引いたままにしてください。
2. スイッチを切り、リターンレバーを時計回りと反対方向にゆるめると「ロッド」はもとの位置までもどります。

ご注意

「ロッド」は、先端まで前進し停止するまでは、途中でスイッチを切ってももとの位置にはもどりません。
これは機械内部の油圧制御バルブが中間位置で解放しないためです。「ロッド」が完全にもとの位置までもどり停止してから、次の圧入のためにスイッチを入れてください。

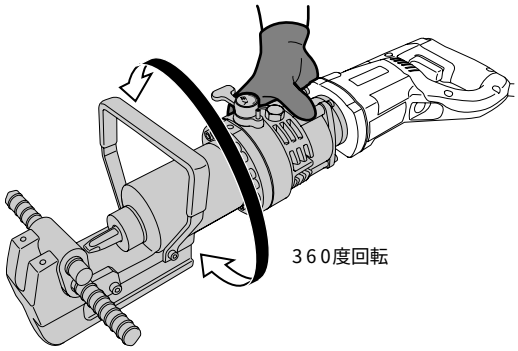
機械本体の外部表面の温度が70℃をこえるとパワーが低下します。いったん冷却のために使用をやめてください。



⚠警　告

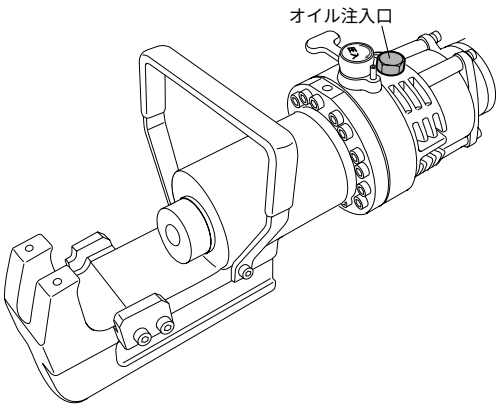
・機械の運転中にはロッドや他の回転部、摺動部に手や顔などを近づけないでください。

■モーター部の回転機能について



本機の特徴のひとつとして、作業時の負荷がかかった状態でも、本体モーター部分を左右任意の方向へ360°自在に回転させることができます。
せまくかぎられたスペースに、本機を差し入れて作業する場合など、本体が振られてスイッチ操作がしにくくなることがあります。こうした場合にも、モーター部分を自在に回転させて、スイッチ操作のしやすい位置を確保できます。

保守・点検について 油圧オイルの補充方法



注油口が上向きになるように、本機を台などに置き、水平に安定させてください。

1. 「リターンレバー」を時計回りと反対方向にゆるめ、ロッドを始点へもどしてください。

⚠ 注 意

油圧オイルを補充する前に、必ずロッド（摺動子）を始点へもどしてください。絶対にロッド（摺動子）が出たままの状態で油圧オイルを補充しないでください。

2. 付属のスパナで注油口のボルトをはずし、オイル面がさがっている場合には、付属の油圧オイルをいっぱいまで注いでください。
3. 注油口のボルトをしっかりと締め込んでください。
4. スイッチを入れ、数回動作させ再度オイル面を確認してください。
5. オイル面がさがらなくなるまで、上記の手順を数回くりかえしてください。

ご注意

オイルは、油圧オイルか新日本石油製スーパーハイランド#46をご使用ください。本機の構造上、油圧オイル以外のオイルは絶対に使用しないでください。パッキン等が破損し故障の原因となります。

MEMO